

※ローインパクトキャンプ※

野外活動をおこなうとき、できるだけ自然環境に影響を与えないにする事をローインパクトという。現実にはなかなか実行が難しいこともあるが、次の《地球を傷めないローインパクト (Low Impact) ・キャンプの7つの鍵》を野外活動の目標にしてみよう。

Key 1 事前の調査

- ① 鉄道やバスを利用できるコースのキャンプ地を選ぶ。
- ② 10人以下の小人数で行く。
- ③ 服装は地味な色のものを着て、鳥や野生動物を驚かさない。
- ④ 弁当を持参して、ゴミを出さない。

Key2 装備

- ① 人の力で運べる道具を選び、自動車に頼らない。
- ② ゴミを出さない資材を使う。
- ③ 食料は地元で手に入れる。

Key3 キャンプサイト

- ① 日当たりのよい平らな場所を選ぶ。
- ② そこに住む動植物を傷めたり、地形を変えることはしない。
- ③ 1ヶ所に4日以上滞在しない。
- ④ 現状復帰に心がける。

Key4 火の取り扱い

- ① 燃料は持参するか買って行き、自然のものを傷つけない。
- ② 炊事の火は地面から離れた空き缶コンロなどを使い、地中の生態系を傷つけない。
- ③ キャンプファイヤーは地面から離れた缶や断熱用の金属板の上に組み、地中の生態系を傷つけない。
残り火は湯沸かしなどに利用しエネルギーを無駄にしない。

Key5 衛生

- ① 食料や食器は衛生的に貯蔵する。
- ② 手に傷がある物には調理させない。
- ③ その都度ちょうりしたし新鮮な物を食べ中毒を防ぐ。
- ④ 身体を清潔にし、汗をかいたままの下着で寝ない。
- ⑤ 便所は宿泊所から十分に離し、また自然の流水を飲み水等として使用する場合は50メートル以上離して設置する、使用後は土をかけ穴を掘ったときはフタをして、八工等を防ぐ。

Key6 廃棄物

- ① ゴミは持ち帰るか、地元の収集ルールに従って処理してもらう。
- ② 洗濯や食器洗いの排水は、濾過し浅い穴に流し穴にはフタをする。

Key7 礼儀

- ① 野生の生態系や地形を乱さない。
- ② その土地の良い習慣に従う。
- ③ 写真や絵等で記録するほかは何も収集しない。
- ④ 活動の跡は残さない。残すのは感謝のみ。